

## まとめ と 準備

明けまして おめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

コロナ禍で自粛した冬休みも終わり、今日から令和2年度のまとめとなる大切な第三学期が始まりました。冬休み期間中寂しかった学校にも、子どもたちの元気な声と明るい笑顔が戻り、新学期のスタートを感じる1日となりました。

さて、これから1～5年生は学年のまとめとともに、次の学年に向けての大切な準備の学期になります。残された授業日は、わずか49日です。6年生は小学校生活6年間のまとめとともに、中学校進学に向けての大切な学期になります。6年生に至っては残された授業日は、45日となりました。

第三学期は1年で1番短い学期で、次のステージに向けての大切な準備期間となるため、いろいろとやらなければならないことがあります。

学習では、本学年で習った学習のおさらいをすることです。その学年で習得しておかなければならない内容をできないままにしておくと、新しい学年の学習に入ったときに理解が進みません。ほとんどの学習が既習の学習を生かして考えたり、答えを出したりするからです。各学年で必ず身につけておかなければならない学習内容を落とさずに確実なものにすべきです。特に、6年生は中学校に入学してすぐにテストがありますので、このまとめと準備を大切に、確かな学力を身につけて卒業式を迎えたいと考えます。

生活では、一生に一度しかない今の学年・学級のよき思い出づくりに取り組ませます。そのために、あいさつや言葉遣い、係活動などのはるだっ子8つの目標について、さらに目標を高くもたせ、日々の取組を充実させていきます。そして、卒業式や修了式では、確かな手応えを感じながら進学、進級できるようにしたいものです。

保護者・地域の皆様には、本校の教育にご理解をいただき感謝しております。第三学期もこれまで同様、原田小学校の教育活動にご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

### 〔12月の行事より〕



コロナ禍で延期されていた体力テストを実施しました。みんなの頑張りで体育館が熱気に包まれていました。



第二学期の終業式で、冬休みのきまりについての話は、テレビ放送で行いました。とても分かりやすかったです。

## 第3学期の行事予定について

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、子どもたちの学校での様子を保護者の皆様に公開できていません。第3学期は、「予防の徹底」や「開催方法の工夫」を行いながら何とか開催できないかと考えていますが、今のところ決定できていません。今後の状況を見ながら判断していきます。保護者の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

本日配付いたしました「動画配信に関わる調査」プリントのご提出も、よろしくお願いいたします。

### 《今後の予定》

- 2月10日(水) 学習参観(下学年)・・・検討中
- 2月18日(木) 4年「1/2成人式」、6年「感謝の会」は規模や内容を変更して実施予定  
学習参観(上学年)・・・検討中
- 2月27日(土) 6年生ありがとう集会・・・内容、方法を縮小して実施予定  
[土曜授業] 保護者参観は行わない予定です

## 1月の行事予定

1	金	元日
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	第3学期始業式 安全点検
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	短縮4時間 図書返却
13	水	小中合同挨拶 給食開始 図書返却 PTA役員会
14	木	図書館開館
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	委員会活動
19	火	
20	水	あいさつの日
21	木	給食感謝集会
22	金	クラブ活動
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	町職員全員研修会(Web)
29	金	入学説明会
30	土	
31	日	

## 心合わせて 長縄チャレンジ

12月は体育委員会主催の「長縄チャレンジ大会」が学年ごとに開催されました。学級でめざす目標を決めて、休み時間等を使って練習を続けてきました。最初はうまくタイミングがとれなかった子も、練習を重ねるうちにどんどん上手になってきました。どの学級も真剣な取組の姿でした。今大会の最高記録は、6年3組の232回でした。



【6年生の様子】

体力づくりと協力心や団結心の向上を求めて、3学期ももう一度大会が開かれます。学級でよりよい目標をめざして頑張ってください。

## 家庭と学校で連携して指導を

3学期、学校で指導の重点化を図りたい内容です。ご家庭でも指導にご協力をお願いします。

### 〈時間の意識を高めよう〉

学校は決まった計画(時間割)で集団生活を送っています。「時を守る」ことはとても大切です。始まり、終わりの時間を守り、メリハリのある指導を行っていきます。ご家庭でも時間で動くことについてご指導ください。

### 〈温かい言葉を使おう〉

言葉を大切にすることは相手や全体とのつながりを大切にすることができます。ちくちく言葉を言わず、ふわふわ言葉のあふれる学校にしていきたいと思えます。私たち大人が、子どもたちのよきモデルになりたいと思えます。